

スギテツ

with

溝口肇

★クラシックで遊ぼう!★

〈出演〉スギテツ:杉浦哲郎(ピアノ)/岡田鉄平(ヴァイオリン)
溝口肇(チェロ)

「クラシックで笑顔を創る」
ピアノとヴァイオリンのデュオ「スギテツ」
「世界の車窓から」でお馴染みのチェリスト、
溝口肇とスギテツとの共演が実現!



Sugitetsu

Hajime Mizoguchi



～スギテツの冗談クラシック～
アイネ・クライネ・3分クッキング
犬のおまわりさんの運命
色んな生き物で“白鳥”
ほか

～スギテツ with 溝口肇～
世界の車窓から
だたん人の踊り
リベルタンゴ ほか

2020. 9/21 (月・祝)

開場13:15 開演14:00

アイザック小杉文化ホール ラポール

座席の間隔を空けて販売いたします。

チケット一般発売開始 7/19(日)

全席指定 一般 2,000円 高校生以下 1,000円
(当日一般2,500円) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

プレイガイド/アイザック小杉文化ホール、高周波文化ホール(新湊中央文化会館)
アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール、高岡文化ホール)

主催/ (公財)射水市文化振興財団 共催/北日本新聞社、チューリップテレビ
後援/射水市、射水市教育委員会、FMとやま、射水ケーブルネットワーク(株)

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、変更が生じる場合がございます。

※マスクを着用していないお客様のご入場は
お断りさせていただく場合がございます。
※公演当日、検温を実施します。37.5℃以上
ある方はご入場をお断りさせていただきます。

特別協賛

片山学園初等科

お問い合わせ/アイザック小杉文化ホール ラポール TEL.0766-56-1515(9:00~17:30) ※毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)を除く

スギテツ

★クラシックで遊ぼう!★

with
溝口 肇



杉浦 哲郎 (ピアノ)



岡田 鉄平
(ヴァイオリン)

Sugitetsu
スギテツ

「クラシックを遊ぶ音楽実験室」をテーマに、誰もが知っているクラシックの名曲をさまざまな音楽や環境音とマッシュアップ(=融合)させ、聴くだけでなく観て楽しいコンサート活動を全国各地で展開している異色のデュオ。「題名のない音楽会」「らららクラシック」など、音楽番組を中心にメディアにもたびたび取り上げられている。近年では、NHK Eテレの音楽教育番組「おんがくラボ」へのレギュラー出演、「NHK全国学校音楽コンクール(Nコン)」へのゲスト出演など、次世代に楽しく音楽を伝える役割も担い始め、スクールコンサートやワークショップの実績も数多い。

また、「鉄道」をテーマにした作品も数多くリリース。JR東海のCMなど、各鉄道会社の関連音楽も数多く手がけているほか、鉄道をテーマとしたラジオ番組(FM NACK5「スギテツのGRAND NACK RAILROAD」)のパーソナリティーも務め、2012年日本民間放送連盟ラジオエンターテイメント部門で優秀賞を受賞。更に、2014年にリリースした東海道新幹線50周年記念アルバム「走れ! 夢の超特急楽団」が「輝く! 日本レコード大賞 企画賞」を受賞。東京フィルハーモニー交響楽団との共演からなんばグランド花月のステージまで、クラシックとエンターテインメントを自在に行き来するデュオとして、年間100本を超えるステージを展開している。



Hajime Mizoguchi

溝口 肇

チェリスト・作曲家、プロデューサー。

カラヤンをテレビで見て3歳からピアノを始め、11歳よりチェロを始める。東京藝術大学卒。1986年ソニーよりデビュー。以後、クラシック、ポップス、ロックなど幅広いジャンルで活躍。テレビ番組「世界の車窓から」のテーマ曲はあまりにも有名。自身の音楽を「心の覚醒」と位置付け、奏でるチェロの美しさ、ホスピタリティあふれるサウンドは、ジャンルを越えて多くの人を魅了し続け、ミュージックシーンに独自のスタンスを確立している。GRACE MUSIC LABELを主催し、CD制作、ハイレゾ音楽制作を行っている。最新鋭レコーディングにも精通し、ハイレゾ最高峰であるDSDでの制作、配信も精力的に行っている。

主なテーマ音楽など(2017年現在)

世界の車窓から(テレビ朝日)
ジェットストリーム エンディングテーマ(TFM)
ヨーロッパ空中散歩(BSフジ)
野村不動産「PROUD」CM曲「Someone to watch over me」 2018年1月まで放映
アルバム

2017年3月「Music Book」リリース。
4人のジャズピアニストを招き、全編ジャズによるセルフカバー。
2017年12月「Almost Bach」リリース。
チェロクインテット第2弾として、バッハのピアノ曲などをカバー。